



平成25年度水道施設管理技士資格試験（実施日：1月19日）

平成25年度水道施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、842名が受験した。

配管設計講習会（関東会場第2回：1月22日～1月24日）

水道事業者及び設計業者の職員（参加者58名）を対象に、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」及び「管路の積算演習」について研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（第8回：1月28日～1月31日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員（参加者15名）を対象に、東京都水道局研修・開発センターを利用し、実際にポンプの分解・組立等や機器類の運転・操作及び浄水処理の実習を行うとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

水道技術者専門別研修会（浄水施設部門）（1月27日～1月31日）

水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術職員（参加者88名）を対象に、「水道事業の現状と課題」、「水質管理」、「浄水施設」、「機械設備・電気設備」、「計装設備」及び「水道施設管理業務の積算とその業務評価」について研修を実施した。

水道技術者専門別研修会（機械・電気・計装設備部門）（2月3日～2月7日）

水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術職員（参加者88名）を対象に、「水道事業の現状と課題」、「機械設備」、「電気設備」、「計装設備」、「運転・保守管理委託」及び「水道技術者の水道設備」について研修を実施した。

水道技術者専門別研修会（給水装置部門）（2月17日～2月21日）

水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術職員（参加者88名）を対象に、「水道事業の現状と課題」、「給水装置概論」、「給水装置の構造及び材質の基準」、「給水管及び給水用具」、「指定給水装置工事事業者制度」、「給水装置の設計・水理計算演習」、「給水装置の施工等」、「給水装置の維持管理」及び「給水装置の事故事例とその対応」について研修を実施した。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



2月19日

豊田市上下水道局
(認定番号：JWWA-GLP104)



3月12日

倉敷市水道局
(認定番号：JWWA-GLP057)



3月13日

神奈川県内広域水道企業団
(認定番号：JWWA-GLP003)

第34回府県営業水道連絡協議会（2月17日）

本協議会のメンバー府県から提案された情報交換事項、「①平成26年度予算案 予定貸借対照表の注記について」、「②電力調達に係る一般競争入札における新電力の参入促進について」、「③水道用水供給事業者の受水水道需要者に対する情報提供について」、「④原子力災害対策について」、「⑤ K 形継手を有するダクタイル鋳鉄管の耐震性評価について」、



「⑥原水高濁度の状況について」、「⑦経営分析に係る資料提供について」、「⑧災害時における電源確保対策について」、それぞれ情報・意見交換を行った。

第926回会誌編集委員会（2月20日）

本誌3月号、4月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第11回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（2月17日）

ISOの専門委員会TC224の活動状況について、設置済みの各ワーキンググループの活動及び雨水管理関連ワーキンググループの新設など今後の動向の報告があった。また、他の専門委員会の動向として、アセットマネジメント（PC251）、汚泥の回収・再利用・処理・処分（TC275）、水の再利用（TC282）についての報告があった。さらに、国際会議への参加に関わる今後の方針について審議し、委員会およびワーキンググループメンバーを支援するための小委員会の設置が承認された。

第85回水道 GLP 認定委員会（2月25日）

水道 GLP 認定について、(株)山梨県環境科学検査センター（申請番号：JWWA-GLP105）が新規に審議され決定された。また、認定更新検査機関として神奈川県企業庁（認定番号：JWWA-GLP006、2月28日付）が、認定維持検査機関として八戸圏域水道企業団（認定番号：JWWA-GLP031）、甲府市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP079）、内藤環境管理（株）（認定番号：JWWA-GLP080）、(公社)大分県薬剤師会（認定番号：JWWA-GLP081）が、それぞれ審議され決定された。

第5回井戸等の管理技術マニュアル改訂専門委員会（2月27日）

本委員会では、井戸等の管理技術マニュアル、井戸の更新及び改修、維持工事の事例及びそれらの設計、仕様書の事例を含めた改訂作業を進めている。

今回の委員会では、第1回アンケート調査の結果報告と第2回アンケート調査（設計事例と事故事例の詳細調査）について報告を行った後、マニュアル改訂作業を行った。

第108回機械・電気・計装専門委員会（3月4日・5日）

本専門委員会では、平成25・26年度で「水道用ポンプマニュアル」及び「水道用バルブハンドブック」の改訂を予定している。委員会はポンプ作業部会、バルブ作業部会に分かれ、前回の委員会審議結果を反映した改訂原稿案について審議を行った。

来年度は、各作業部会で作成した修正原稿について通読・審議を行い、平成26年度末の完成を目指す。

第8回耐震技術検討専門委員会（3月5日）

「耐震設計事例集（仮称）」、「耐震設計の手引き書（仮称）」の内容について審議検討を行った。事例集及び手引書は、平成26年度上半期内を目途に作成する予定である。

第34回認証制度運営委員会（3月6日）

はじめに、報告事項として「第34回認証審査委員会審議結果について」、「品質認証業務規則の改正について」他8件について事務局より報告を行った。

続いて、議案として「認証に係る費用規則及び認証関係諸様式に関する要綱の改正について」審議し、異議なく承認された。



第162回水道統計編纂専門委員会（3月7日）

はじめに、議題1「平成24年度水道統計について」を上程し、平成24年度における水道の普及状況、及び水道統計冊子へ記載する被災地対応の凡例について、それぞれ事務局より説明し了承された。

次に、議題2「厚生労働省からの水道統計調査への要望」について、厚生労働省健康局水道課水道計画指導室 渡邊室長補佐、並びに事務局から説明を行い、委員から意見を伺った。

最後に、議題3「平成25年度水道統計調査の見直し」について事務局より説明を行い、原案に修正を加えることで了承された。



第682回抄録委員会（3月11日）

本誌6月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

